

檀
上
寬
教
授

略
年
譜
·
著
作
目
錄

檀上 寛教授 略年譜・著作目録

略年譜

- 一九五〇年六月 長崎県佐世保市に生まれる
 一九五一年一月 兵庫県神戸市に転居
 一九六九年三月 兵庫県立長田高等学校卒業
 一九七〇年四月 京都大学文学部入学
 一九七五年三月 京都大学文学部東洋史学科卒業
 一九七五年四月 京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻修士課程入学
 一九七七年三月 同 修了
 一九七七年四月 京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士課程入学
 一九八〇年三月 同 単位習得満期退学
 一九八〇年四月 京都大学文学部研修員（一九八三年三月まで）
 一九八〇年四月 甲南大学非常勤講師（一九八四年三月まで）
 一九八一年四月 橋女子大学非常勤講師（一九八三年三月まで）
 一九八一年四月 京都大学人文科学研究所非常勤講師（一九八二年三月まで）
 一九八二年四月 日本学術振興会奨励研究員（一九八三年三月まで）
 一九八三年四月 京都外国語大学非常勤講師（一九八四年三月まで）
 一九八三年四月 堺女子短期大学専任講師（一九八五年三月まで）
 一九八五年四月 堺女子短期大学助教（一九八七年三月まで）
 一九八六年四月 追手門学院大学非常勤講師（一九八七年三月まで）
 一九八七年四月 富山大学人文学部助教（一九九二年三月まで）
 一九九二年四月 京都女子大学文学部助教（一九九五年三月まで）
 一九九三年一月 京都大学総合人間学部非常勤講師（一九九四年三月まで）
 一九九四年一月 神戸大学文学部非常勤講師（一九九五年三月まで）
 一九九五年四月 京都女子大学文学部教授
 一九九六年四月 奈良女子大学文学部非常勤講師（一九九七年三月まで）
 一九九七年三月 京都大学博士（文学）

著作目録

- 一九九七年四月 京都大学大学院文学研究科非常勤講師（一九九八年三月まで）
 一九九八年七月 琉球大学法文学部・教育学部非常勤講師（集中講義）
 一九九九年七月 島根大学法文学部非常勤講師（集中講義）
 二〇〇四年四月 京都大学大学院文学研究科非常勤講師（二〇〇五年三月まで）
 二〇〇五年四月 京都女子大学文学部部長（二〇〇七年三月まで）
 二〇〇九年四月 龍谷大学文学部非常勤講師（二〇一三年三月まで）
 二〇〇九年四月 姫路市立生涯教育大学校非常勤講師（現在に至る）
 二〇一六年三月 京都女子大学を定年退職（予定）
- 〔編著・著書〕
 中国民衆叛乱史 第二卷（共著） 平凡社東洋文庫 一九七九年三月
 戦後日本の中国史論争（共著） 河合文化教育研究所 一九九三年一月
 明の太祖朱元璋（単著） 白帝社 一九九四年七月
 アジアの歴史と文化 第四卷（共著） 同朋舎 一九九四年一月
 著）
 明朝専制支配の史的構造（単著） 汲古書院 一九九五年一月
 永楽帝—中華「世界システム」への 講談社選書メチエ 一九九七年一月
 夢—（単著）
 中国人物列伝 第一・第二講（共著） 恒星出版 二〇〇二年一月
 著）
 東アジア海洋圏の史的研究（共編） 京都女子大学研究叢 二〇〇三年九月
 刊三九

中国人物列伝 第三・第四講 (共編) 恒星出版 二〇〇五年一月

著)

中国の歴史・下 (共著) 昭和堂 二〇〇五年四月

中国歴史研究入門 (共著) 名古屋大学出版会 二〇〇六年一月

元明時代の海禁と沿海地域社会に関 平成一五年度～一七 二〇〇六年三月

する総合的研究 (单著) 年度科研報告書

永楽帝―華夷秩序の完成― (单著) 講談社学術文庫 二〇一二年二月

明代海禁―朝貢システムと華夷秩序 京都大学学術出版会 二〇一三年二月

(单著)

永楽帝―華夷秩序の完成― (王晓峰 社会科学文献出版社 二〇一五年二月 北京)

〔論 文〕

明王朝成立期の軌跡―洪武朝の疑獄 事件と京師問題をめぐって― 『東洋史研究』 第三 一九七八年一二月 七卷第三号

初期明王朝の通貨政策 『東洋史研究』 第三 一九八〇年一二月 九卷第三号

義門鄭氏と元末の社会 『東洋学報』 第六三 一九八二年三月 卷第三・四号

元・明交替の理念と現実―義門鄭氏 『史林』 第六五卷第 一九八二年三月 二号

鄭氏規範の世界―明朝権力と富民層 小野和子編『明清時 一九八三年三月 代の政治と社会』京 都大学人文科学研究 所

義門鄭氏与元末社会 (上) (胡其德 『世界華学季刊』 第 一九八三年六月 四卷第二期 (台北)

義門鄭氏与元末社会 (下) (胡其德 『世界華学季刊』 第 一九八三年九月 四卷第三期 (台北)

方孝孺の政治思想―明初の理想的君 堺女子短期大学紀 一九八四年三月 要』 第一九号

主観―

明初「空印の案」小考 『堺女子短期大学紀 一九八五年一〇月 要』 第二〇号

明代科挙改革の政治的背景―南北卷 の創設をめぐって―

『東方学報』 第五八 一九八六年三月 冊

明代南北卷の思想的背景―地域性超 小谷伸男編『東アジ 一九八八年三月

克の論理― アにおける文化伝播 と地方差の諸相』科 研報告書

方孝孺の理想的国家観―前近代中国 『富山大学人文学部 一九八九年三月

の連帯の位相― 紀要』 第一五号

明代南北卷の思想背景―克服地域性 『思与言』 第二七卷 一九八九年三月

的論理― (王霜媚訳)

明朝専制国家と儒教的家族国家観― 『山根幸夫教授退休 一九九〇年三月

尾形勇氏の所論によせて― 記念明代史論叢』汲 古書院

明初建文朝の歴史的位置 『中国―社会と文化』 一九九二年六月 第七号

明清郷紳論 谷川道雄編『戦後日 一九九三年一月

明清郷紳論 本の中国史論争』河 合文化教育研究所

明清郷紳論 (夏日新訳) 『日本学者研究中国 一九九三年一〇月 史論著選訳』第二卷、 中華書局 (北京)

中国専制国家と儒教イデオロギー― 『史窓』 第五一号 一九九四年三月

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

獄事件与京師問題― (魏常海・張 中國史…宋元明清 希清訳) 卷』上海古籍出版社

「士」 身分の変遷を通して―

明王朝成立期の軌跡―洪武前期の疑 『日本中青年学者論 一九九五年一二月

明清郷紳論（鄭白燮訳）

『日本の中国史論 一九九六年一月 争—一九四五—イ 亨—』図書出版新書 苑（ソウル）

明初の海禁と朝貢—明朝専制支配の 理解に寄せて—

森正夫等編『明清時 代史の基本問題』汲 古書院 一九九七年八月

初期明帝国体制論

日本関于元末明初研究の変遷与現状 簡介

『岩波講座世界歴史』 第一一巻、岩波書店 一九九七年八月 『明史論文集』黄山 書社（中国安徽省合 肥） 一九九七年八月

明初の対日外交と林賢事件

朝鮮王朝編『吏文』収載の榜文に見

る明初の対外政策

『史窓』第五七号 二〇〇〇年三月 夫馬進編『中国明清 地方檔案の研究』科 研報告書 二〇〇〇年三月 『中国文明の歴史— 明帝国と倭寇—』第 八巻、中央公論社 （中公文庫） 二〇〇〇年九月

明帝国と倭寇・解説

『史窓』第五八号 二〇〇一年三月 元末の海運と劉仁本—元朝滅亡前後 の江浙沿海事情—

明初対日外交与林賢事件（王霜媚 訳）

『明清論叢』第二輯、 紫禁城出版社（北 京） 二〇〇一年四月

方国珍海上勢力と元末明初の江浙沿

海地域社会

京都女子大学東洋史 研究室編『東アジア 海洋圏の史的研 究』京都女子大学研 究叢刊三九 二〇〇三年九月

明代海禁概念の成立とその背景—違 禁下海から下海通番へ—

『東洋史研究』第六 二〇〇四年十二月 三巻第三号

明代「海禁」の実像—海禁と朝貢シ ステムの創設とその展開—

歴史学研究会編『港 町の世界史』第一巻、 青木書店 二〇〇五年十二月

「国初寸板不許下海」考

『明代中国の歴史的 位相』山根幸夫教授 追悼記念論叢』下巻、 汲古書院 二〇〇七年六月

明朝の対外政策と東アジアの国際秩 序—朝貢体制の構造的な理解に向い て—

『史林』第九二巻第 二〇〇九年七月 四号

明代朝貢体制下の冊封の意味—日本 国王源道義と琉球国中山王察度の 場合—

『史窓』第六八号 二〇一一年三月

明代中華帝国論

『新しい歴史学のだ めに』第二七九号 二〇一一年一月

明朝初期の海禁与朝貢—理解明朝専 制統治の一箇途徑—（王霜媚訳）

『明清時代史的基本 問題』商務印書館 （北京） 二〇一三年八月

明朝対外政策与東亜国際秩序—朝貢 体制結構的理解途徑—（徐衝訳）

『日本中国史研究年 刊』二〇〇九年度』 上海古籍出版社 二〇一一年十二月

明清時代の天朝体制と華夷秩序

『京都女子大学学 院研究紀要（史学 編）』第一二号 二〇一三年三月

書評 Edward L. Farmer *Early Ming Government: The Evolution of Dual Capitals* (明初兩京制度)

『東洋史研究』第三 一九七八年六月 七巻第一号

〔書評・事典・その他〕

『東洋史研究』第三 一九七八年六月 七巻第一号

書評 Edward L. Farmer *Early Ming Government: The Evolution of Dual Capitals* (明初兩京制度)

『東洋史研究』第三 一九七八年六月 七巻第一号

『平凡社大百科事典』
家訓、義莊、交鈔、族譜

平凡社
一九八四年・一九八五年

洪武帝と馬皇后

『週刊朝日百科 世界の歴史』第五八号

一九九〇年一月

随想 歴史の評価

『神戸新聞』

一九九八年九月四日

随想 夫婦別姓

『神戸新聞』

一九九八年一〇月一日

随想 通勤電車

『神戸新聞』

一九九八年一〇月一六日

随想 世紀末

『神戸新聞』

一九九八年一月二日

随想 古都の秋

『神戸新聞』

一九九八年一月一八日

随想 家族

『神戸新聞』

一九九八年二月四日

随想 倭寇の国

『神戸新聞』

一九九八年一月二二日

元の順帝―中華を去った皇帝―

『しにか』第一〇巻 第八号

一九九九年七月

東洋史集中講義を終えて

『歴史学通信(島根大学)』第二四号

二〇〇一年六月

洪武帝と永楽帝―中華「世界システム」創設への歷程―

『しにか』第一三巻 第一号

二〇〇二年一月

藤縄先生の思い出

『史窓』第六〇号

二〇〇二年三月

明の魏忠賢―生きて神となった男―

『中国人物列伝』第二講、恒星出版

二〇〇二年一〇月

胡惟庸と林賢―日明関係を途絶させた男達―

『中国人物列伝』第四講、恒星出版

二〇〇五年一月

『歴史学事典 王と国家』第一二巻
永楽帝、朱元璋

弘文堂

二〇〇五年三月

永楽帝―華夷秩序の統括者たらんとした偉才―

『歴史読本』一〇月 二〇〇九年八月号

永楽帝と礼制覇権主義

講談社 P R 雑誌 『本』第三八巻第一号

『中国文化史大事典』

大修館書店 二〇一三年四月

永楽通宝、永楽帝、袁氏世範、応天府、解縉、建文帝(明)、国権、靖難の変、太祖(明)、鄭氏規範、鄭和、南京、方孝孺、歴代名臣奏議

海禁と朝貢

岡本隆司編 『中国経済史』名古屋大学出版会 二〇一三年一〇月

京都女子大学におけるアジア学の組織と現況

『東方学会報』第一〇七号 二〇一四年二月

日中交流に思うこと

『芬陀利華』三四一 二〇一四年一〇月号

日本は倭寇の国か？

『芬陀利華』三四九 二〇一五年二月号